

第5回 川崎市多摩川プラン推進会議

議事要旨

■開催日時：2009年（平成21年）7月14日（火）13：30～15：45

■開催場所：川崎市産業振興会館11F第6会議室

■出席者（敬称略）

委員長	進士 五十八	東京農業大学 教授
委員	青木 昌夫	公募
委員	亀田 多喜	公募
委員	櫻木 進	公募
委員	鈴木 研司	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 所長
代理委員	鈴木 眞智子	NPO 法人多摩川エコミュージアム 事務局長
	（副委員長 北島 信夫 代理）	

■議事要旨

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 趣旨説明

4. 議事 ー川崎市多摩川プランの推進についてー

- (1) 2009年度の川崎市多摩川プランの推進について
 - ・2008年度の多摩川
 - ・多摩川プランの進捗状況
 - ・2008年度を振り返っての課題
 - ・2009年度の方向性
- (2) 今後の川崎市多摩川プラン推進会議の運営について
- (3) NPO 法人多摩川エコミュージアムの活動報告

5. 意見交換

「議事 ー川崎市多摩川プランの推進についてー」の意見交換

（進士委員長）

- ・ 今回の報告書は非常にわかりやすくなったと思う。
- ・ 役所が出す報告書の表現方法として、どこまで出してよいかを悩むのであれば、「多摩川プラン推進会議 編」とすればよい。
- ・ P.13にプランの進捗状況とあるが、事業評価ではないのか。
- ・ 施策の方向性をレーダーチャートにしているのがよくない。方向性ではなく、事業の進捗状況をレーダーで示すべきである。

- ・今回は単年度で評価しているが、多摩川プランは10ヵ年計画なのだから、長期の進捗状況を載せるか毎年のレーダーチャートを並べるなどをしないと、昨年度進んだ事業でも今年度の評価が低く出てしまうことになるので、プラン全体の進捗状況を示すものとしてはよくない。
- ・表面的な評価だけでよいのかという議論もある。多摩川プランは数値でギチギチ詰めていく評価よりも、多摩川がみんなのものになったという実感を持ってもらえるような、あたたかくぬくもりのある評価でよいのではないか。
- ・P.16「2008年度を振り返っての課題」とあるが、課題というと宿題のように聞こえるので、「今年はこれをやります。」くらいのスタンスでいったほうが良い。
- ・P.20に包括占用の説明があったが、あれは行政同士がすればよい話で、市民向けにはもっと簡単な説明でよい。「多摩川は国の管理地ですが、市が一括でお借りして責任を持って監理していきます。色々なご意見があればどうぞ。」のように。
- ・社会実験という言葉だが、市民は実験と聞くと勘違いしてしまうこともある。既定の考え方にとらわれない表現でよいのではないか。
- ・3校目の水辺の楽校とあったが、水辺ではなくて海辺の楽校というのはどうか。

(鈴木(眞)委員)

- ・大師河原干潟館のあたりは、海でもあり川でもあるのだから、海辺よりも水辺のほうが良い。

(進士委員長)

- ・環境問題を考える上で、海は非常に大事である。都心の人はずっと海に関心を向けて欲しい。
- ・多摩川プランの計画体系には、10ヵ年計画がわかるものを載せたほうが良い。進んでいる事業がどれかわかるよう、網掛けをするなど表現の工夫も必要。

(櫻木委員)

- ・大変よくできていると思う。ただ、施設のことばかりだなという印象を受ける。
- ・今の多摩川は昔と違い作られた多摩川であるが、昔より綺麗になり良くなった。しかし、整備のしすぎもどうかとも思う。
- ・趣味で写真を撮っているが、これまでは身近にある多摩川にレンズを向けていなかった。多摩川に関する書物を読むなどして自分なりの多摩川に対する思いを、映像化しようと思っている。
- ・本当はみんなで源流まで歩けたらいいと思う。そして多摩川を愛する人を増やせるといいと思う。

(青木委員)

- ・この報告書は役所っぽくなくて良いと思う。また、小学校の副読本としても良いと思う。
- ・見た瞬間に内容がわかるようなタイトルを心がけるとよいと思う。タイトルが全体を

現すようにすると良い。

- ・ 報告書全体的にハード面のことが多いと感じる。水がどのくらいきれいになったか、アユがどのくらい増えたのかななどをグラフ化等して載せるというのも、多摩川に関心を持たせる方法かなと思う。
- ・ 多摩川の昆虫や鳥類などに詳しい方は多い。こういう方々をネットワーク化できたらいいのではと思う。

(進士委員長)

- ・ 多摩川で毎年定点観測しているデータがあるので、それを載せたほうが良いと思う。自然的なものも載せると良い。

(鈴木(眞)委員)

- ・ 公害研究所が毎月出している環境情報に載っているので、それを使うと良いのではないかな。

(進士委員長)

- ・ とうきゅう環境浄化財団も多摩川の植生や歴史など、様々なデータを持っている。情報量が多く、多摩川図書館ができるくらい持っている。

(亀田委員)

- ・ 報告書の中に水洗トイレの設置とあったが、現在使用禁止になっているところがあり残念だ。

(事務局)

- ・ 漏水箇所があり、一時的に水道を止めているため使用できなくなっている。
- ・ 現地には断水している旨の看板を出している。

(亀田委員)

- ・ ヒバリやモンシロチョウ、昆虫などが減ってきているように感じる。草を刈りすぎだから減っているのではないかな。

(鈴木(研)委員)

- ・ 京浜河川事務所では年3回刈っているが、非常に神経質に気を配っている。
- ・ 貴重種がいる場所などは専門家の意見を聞きながら刈っている。

(事務局)

- ・ 市では年6回刈っている。
- ・ 草を刈って欲しいという要望も多い。

(亀田委員)

- ・ 2～3年前から刈りすぎである気がする。

(進士委員長)

- ・ ヨーロッパなどでは草丈を変化させることにより色々な昆虫が出現する環境にしようとしている。
- ・ 草を刈って欲しい人と草を刈らないで欲しい人だと、刈って欲しい人の方が多い。

(鈴木(眞) 委員)

- ・ 多摩川の動植物は80%が外来種である。台風が来るたびに植生が変わり、植物も変わる。
- ・ 多摩川に近づき接していると、日々の変化がわかる。ありのまま、いろんな人がいて、いろんな動植物がいるのが多摩川であると思う。
- ・ 多摩川に近づく人、友達になる人が増えるといい。こういうことをプランに盛り込んで欲しい。

(鈴木(研) 委員)

- ・ 事業評価のところ、レーダーチャートはわかりづらいのもう一度表現を検討したほうがよいと思う。
- ・ 社会実験は国から市にお願いしているということもあり、載せているのだと思う。

(進士委員長)

- ・ バーベキューに関してだが、等々力緑地の再編整備を行うならバーベキュー場をきちんと整備してはどうか。昭和記念公園にはバーベキュー場がある。
- ・ 水辺というオープンラウンドの魅力は大きい
- ・ バーベキューと、川崎農産物とで地産地消など良い。
- ・ 多摩川プランは多摩川流域を含んでいる。つまり、川崎市全体である。河川敷だけを整備していたら良いというのでは大間違いである
- ・ 川崎の精神的な中心である多摩川を中心にまちづくりが進んでいるということが画期的なのである。
- ・ 冊子のタイトルがいまいちである。「2009 年度の課題」や「今の多摩川は」のようなものにすると良いのではないか。
- ・ 多摩川推進モデル校などを作り、そこに対しこの報告書を副読本として配布してはどうか。そのためには教育委員会との連携が必要である。
- ・ フォトコンテストをせっかく行うのだから、写真集を作るとか、またその優勝者の写真を来年の報告書の表紙にしてはどうか。

(櫻木委員)

- ・ 生態系の話がないので、入れてはどうだろうか。
- ・ 河川敷に樹木がないので、狛江市側のような樹木があったらいいと思う。

(鈴木(眞) 委員)

- ・ 狛江市側の樹木はハリエンジュだと思うが、ハリエンジュは河川敷にとってよくないものである。本来は礫河原なのに、上流から流れてきて富栄養化しているから樹木が育ってしまうのである。

(鈴木(研)委員)

- ・ 国でもハリエンジュは伐採できる場所はしている。

(進士委員長)

- ・ 河川は本来まっさらなものなので、何もないほうが良いというひともいれば、河川敷には日を遮るものがないので木陰が欲しいという人もいる。ルールを共有していないのが問題なのである。

報告書についての意見(修正点等)

- ・ 表紙の裏、「はじめに」→「序文」または「ごあいさつ」に。
最後の3行をメッセージ性のある文に。例「川崎市民の・・・・を願っています。」
- ・ P.1、枠は不要。
章タイトル“1. 2.”も不要。
- ・ P.2 以降の見出しを明確にする。成果がわかるようなタイトルをつけ、役所が何をしているのかがわかるようなものにする。例「〇万人集まる」「進む、きれいなトイレ」。
- ・ P.2(2)「～〇〇～」という副題は不要。
- ・ P.4(4)6行目「伸べ8校」→「延べ38校」
- ・ P.5、大師河原水防センターと二ヶ領せせらぎ館は順番を逆にし、上流から下流の順にするとよい。
- ・ P.6、写真を重ねるのは好ましくない。
- ・ P.8、サイン計画のイラストが小さく、せっかくシンボルマークが入っているのにつぶれてしまい、何が書いてあるのかわからない。
裏表紙が空いているのだからそちらに拡大して載せるなどの工夫が必要。
- ・ P.9、タイトル「桜並木などの創出」となっているが、サクラといえばソメイヨシノを思い浮かべる人が多いのだから、「殿町緑地にオオシマザクラ植樹」のようにしてオオシマザクラを強調してはどうか。写真も工事のものでなく、花の咲いたものなどがあれば良い。
- ・ P.11、エコ☆カップいかだ下りは、重点エリア3ではなく重点エリア1。

今後の川崎市多摩川プラン推進会議の運営について(事務局より)

- ・ 現在の委員の任期が7月15日をもって切れるが、現在の委員の方には基本的に継続をお願いしたい。
- ・ 加えて、より実行性を高めるため、実際に多摩川で活動されている方を新たに委員として迎えたいと考えている。

→この提案に対して、会議内では意見等がなかったことから、今後はこの方針で進めていく。

6. 閉会

以上